



ニシハツ Denyo グループ
株式会社

会社案内



ニシハツのミッション
万が一の火災や災害時の支えとなる
高度な製品とサービスを通じて、
社会に安全と安心をもたらし、
お客様の信頼に応え続けます

温室効果ガスによる地球温暖化により、 台風・大雨・大雪等の異常気象や 突然襲ってくる地震....

当社は、1963年に佐賀県唐津市にて西日本発電機として操業を開始し、1975年に消防法に適合する防災用自家発電装置の認定取得、2018年に「ニシハツ」に社名変更、2025年1月には同唐津市に工場を新設・移転いたしました。

災害による停電のリスクが高まっている中、我々ニシハツは、非常用発電機メーカーのパイオニアとして、自然環境、社会状況の変化を敏感に捉え、常にお客様のニーズにお応えしてきました。

これからも、お客様に支えられ築き上げてきた長年の実績、最新の技術力・製造力を集結しお客様から喜ばれる、信頼される製品とサービスを提供し続け、更なる高みを目指して、お客様とご一緒に社会の発展に貢献してまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

宮元俊樹



会社概要

商 号 ニシハツ株式会社 Nishihatsu Co., Ltd.
設 立 1963年(昭和38年)10月11日
本 社 所 在 地 〒847-0831 佐賀県唐津市千々賀 639-1
TEL:0955-78-1115 FAX:0955-78-1616
URL:https://nishihatsu.co.jp



ISO9001 認証取得
(各営業所を除く)

資 本 金 50百万円
株 主 デンヨー株式会社 100%出資
売 上 高 10,802百万円(2025年3月期)

土 地 ・ 建 物	敷地面積	38,620.46㎡	事務所棟	1,719.95㎡
	建築面積	11,734.29㎡	工場棟	10,281.25㎡
	延べ面積	12,430.89㎡	最高高さ	17.035m

従 業 員 数 204名(2025年6月現在)

事 業 内 容 各種自家発電装置及び各種自動制御盤の製造並びに販売
自社製品の保全及び定期点検等のメンテナンス業務

主要取引銀行 福岡銀行唐津支店 みずほ銀行佐賀支店 佐賀銀行唐津支店
西日本シティ銀行唐津支店

役 員	代表取締役社長	宮 元 俊 樹		
	取 締 役	堀 田 哲 生	取 締 役	馬 場 崎 和 久
	取 締 役	仲 野 一 志	取 締 役	井 本 敏 行
	取 締 役	原 憲 二	取 締 役	田 邊 誠
	監 査 役	藤 本 庄 一 郎		

営業所一覧

仙台営業所 〒983-0014
宮城県仙台市宮城野区高砂 1-30-14
TEL:022-290-9540 FAX:022-349-4118

東京営業所 〒103-8566
東京都中央区日本橋堀留町 2-8-5 デンヨービル 2 階
TEL:03-3662-2151 FAX:03-3662-2153

名古屋営業所 〒465-0012
愛知県名古屋市名東区文教台 2-806
TEL:052-726-8270 FAX:052-726-8260

大阪営業所 〒660-0822
兵庫県尼崎市杭瀬南新町 3-1-5
TEL:06-4868-5640 FAX:06-4868-5650

広島営業所 〒733-0833
広島県広島市西区商工センター 5-10-15
TEL:082-208-3304 FAX:082-208-3305

福岡営業所 〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東 2-2-11 ビジネス・ワン筑紫口ビル 5 階
TEL:092-483-4211 FAX:092-483-4231

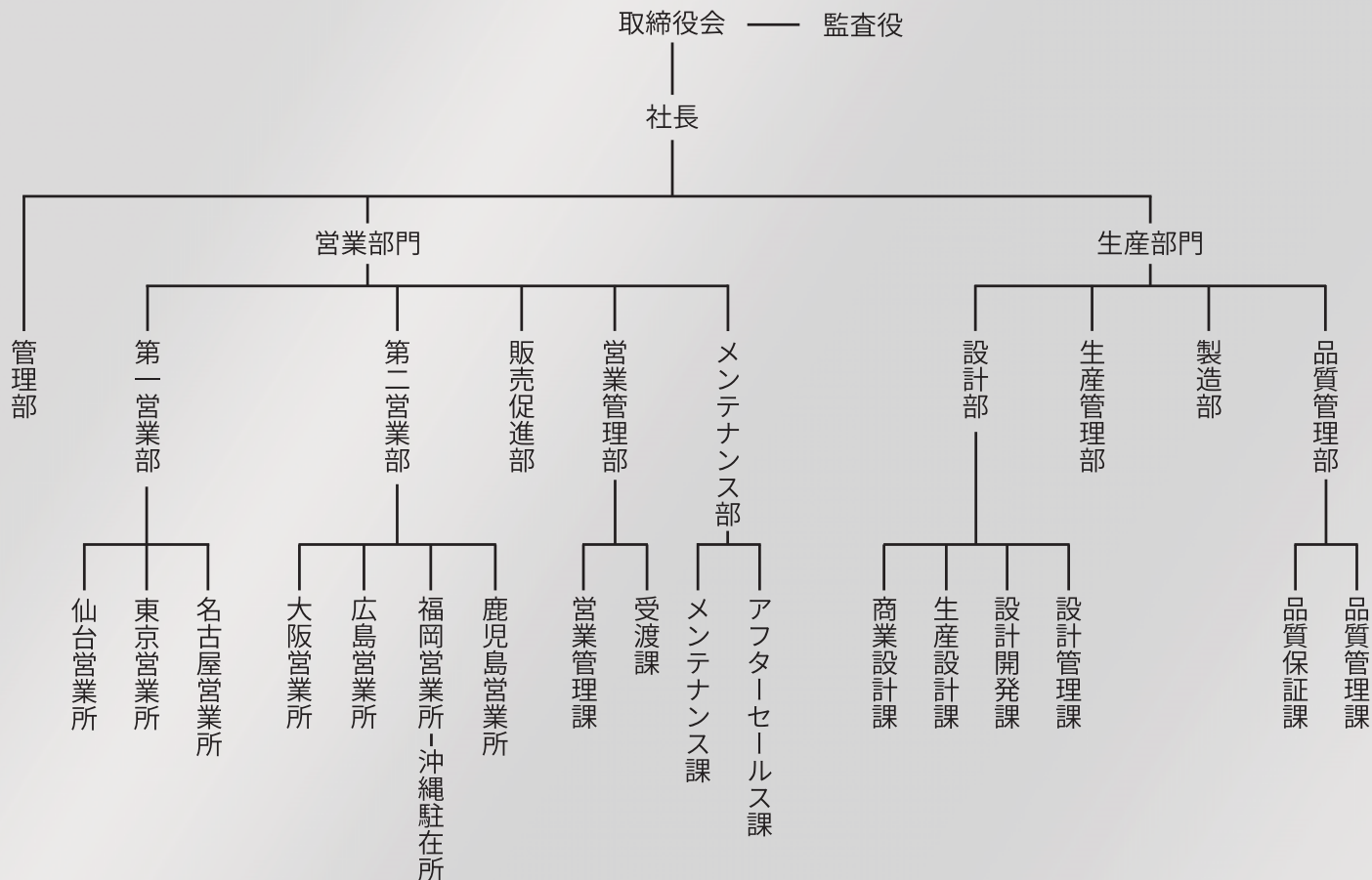
鹿児島営業所 〒890-0052
鹿児島県鹿児島市上之園町 24-2 第 12
川北ビル BOIS 鹿児島 302 号室
TEL:099-812-8701 FAX:099-812-8705

沖縄駐在所 〒900-0004
沖縄県那覇市銘苅 2-8-9 ルシェ口新都心 201 号室
TEL:080-8569-1838 FAX:098-943-1190

沿革

1963 年(昭和 38 年) 10 月	佐賀県唐津市二太子町に資本金3百万円にて西日本発電機株式会社を設立
1965 年(昭和 40 年) 3 月	溶接用直流発電機を開発し、ニシハツウエルダーとして生産販売を開始
1966 年(昭和 41 年) 11 月	鹿児島営業所開設
1967 年(昭和 42 年) 4 月	東京営業所開設、貿易業務を開始
1969 年(昭和 44 年) 1 月	資本金を5百万円に増資
11 月	唐津市千々賀1-1に本社工場を移転
1975 年(昭和 50 年) 7 月	消防法に適合する防災用自家発電装置の認定取得
1980 年(昭和 55 年) 10 月	唐津市千々賀140に本社工場を移転
1987 年(昭和 62 年) 4 月	福岡営業所開設
6 月	大阪営業所開設
1990 年(平成 2 年) 6 月	阪和興業株式会社が全株式を取得し、子会社となり、資本金を50百万円に増資
1999 年(平成 11 年) 4 月	常用防災兼用発電装置の工場認定取得
2002 年(平成 14 年) 11 月	ISO9001認証取得
2006 年(平成 18 年) 11 月	消防法に適合する防災用自家発電装置Lクラスの追加取得(500kW 1000kW以下)
2007 年(平成 19 年) 4 月	名古屋営業所開設
6 月	デンヨー株式会社が全株式を取得し、子会社となる
2017 年(平成 29 年) 10 月	仙台出張所開設
2018 年(平成 30 年) 4 月	広島出張所開設
10 月	社名をニシハツ株式会社に変更
2019 年(令和元年) 9 月	沖縄駐在所開設
2025 年(令和 7 年) 1 月	唐津市千々賀 639-1 に本社工場を移転
4 月	仙台出張所を仙台営業所に昇格
	広島出張所を広島営業所に昇格

組織図





工場紹介





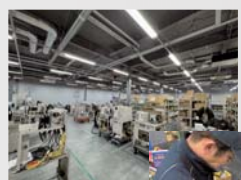
製缶・加工

多彩なオプションにも対応できるよう熟練したスタッフが豊富な経験を活かし、曲げや溶接と精度の高い加工を行っています。



塗装

保護と耐久性に優れた、粉体ポリエステルを使用し吹付けや焼付けを行います。さらに耐久性に優れた耐塩塗装なども行います。



配線・組立

ニシハツの非常用発電装置は同じ仕様の機種が少なく、積み上げた経験が必要になります。設計部署と連携を行い求められる製品を組み上げます。



試験

完成した製品は、試験を行い求められる性能を満たしているか確認を行っています。

製品紹介



ニシハツ HP
製品情報ページへ

ニシハツ自家発電装置は、防災用のほか、コンピュータ・無線通信・ダム及び各種養鶏場などの停電対策の一般非常用としても高い評価を得ています。



三相非常用自家発電装置

出力：20kVA~1250kVA

ニシハツ三相非常用自家発電装置は、消防法の自家発電設備基準に適合した、一般社団法人 日本内燃力発電設備協会の認定品です。



単相非常用自家発電装置

出力：5kVA~100kVA

トランスを使用しない単相出力の発電機、情報通信分野の官公庁の予備電源に最適。



CVCFタンデム非常用自家発電装置

三相出力：5kVA・20kVA

単相出力：30kVA~75kVA

単相と三相を同時出力のタンデム発電機、定電圧・定周波・低波形歪率の高性能 CVCF 発電機。



移動用電源車

高圧：300kVA/500kVA

低圧：75kVA/100kVA

いつでも、どこでも、電力を提供。機動性に優れた発電装置。

その他のスペックも取り揃えております。
製品カタログをご覧ください。

BCP発電装置の設置について

◆BCPとは

2005 年 8 月内閣府中央防災会議「事業継続ガイドライン 第一版」、及び
2006 年 2 月中小企業庁経営安定対策室「中小企業 BCP 策定運用指針」にて策定されました。
BCP（ビーシーピー）とは、「Business Continuity Plan」の頭文字をとった略語のことで、
「事業継続計画」と呼ばれます。企業が事故や災害などの緊急事態に直面した場合に、

- ・ 人命を守るなど資産への損害を最小限にとどめること
- ・ 事業の継続あるいは早期復旧を可能とすること

の2つを目的として、「事前に行うべき準備」や「緊急時における事業継続のための方法」を
取り決めた計画になります。

◆BCP 発電機的重要性

前述の通り、企業活動を行ううえでの BCP が注目されていますが、
事故や災害などの緊急時に電力の供給が途絶えた場合は、

- ・ 企業の事業所や工場等の施設においては設備が稼働できず事業を継続することできない
- ・ 復旧作業がなかなか進まない

という事態を招く恐れがあり、事業継続の進捗を大きく左右することになります。
そこで、各設備に電力を供給して施設や機器を一刻も早く稼働させ、
事業の継続や復旧を進めるためには、非常用発電装置（BCP 発電機）
の導入が非常に重要となります。

導入に際しては、各自治体などからの助成制度がある場合がございます。



BCP発電装置納入事例



▲型式：PX-95ESR(B)/ 唐津市立小川小中学校様



◀型式：SL-225MSR(B)-NCG/ 福岡銀行糸島支店様



▲型式：PX-450VSR(B)/ 西日本シティ銀行ココロ館様

メンテナンスサービス

◆保守、メンテナンスの重要性

非常用発電設備は常時動作している設備ではなく停電時に商用電源(電力会社供給電源)の代りとなる電力を作る設備です。

通常停電が発生した場合は自動起動し、電力を非常用設備へ供給したり、病院では医療機器等にも供給しているケースもあります。しかし、起動しなかった場合はこのような供給ができず、火災停電となればスプリンクラー等による初期消火ができません。

定期点検を怠った事により、燃料切れや起動不良等で非常用発電設備が機能していなかった事例が多く報告されています。

定期点検を行う事で、劣化部品の早期発見、正常な状態維持が可能になります。

ニシハツサービス会社拠点

弊社サービス会社は全国に106社(2025年7月現在)
ニシハツ製品の点検、修理保守部品等については、
ニシハツ メンテナンス部 へお問い合わせください。

メンテナンス部 〒847-0831
佐賀県唐津市千々賀 639-1
TEL:0955-78-1815 FAX:0955-78-1172

